

(別紙4(2))

事業所名: グループホームたらみ

## 目標達成計画

作成日: 令和 1年 11月 25日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議議事録について行事や入居者の状況など記載されているものの、質疑応答に関する記載がなかった。運営推進会議に参加していない職員等にも議事内容が分かるよう議事録を残すことが望ましい。	運営推進会議へ参加していない職員やご家族にも議事内容が分かるよう議事録を残していく。	運営推進会議内で議題に挙げた内容に対しての委員の発言内容や成果を記録していく。	6ヶ月
2	30	ホームでは誤薬防止のために二重三重のチェックを行っているものの、職員の認識に課題が窺われる。例えば誤薬や飲み忘れなどで引き起こされる副作用についての勉強会を行うなど、誤薬防止への更なる取り組みが望まれる。	全ての職員へ薬の副作用などの知識を養う研修を開催し、誤薬に関する事故を無くしていく。	事業所内研修として誤薬予防・薬についての勉強会を開催し、職員個々の誤薬の危険性の認識を高めていく。	6ヶ月
3	35	ホームでは災害対策マニュアルを作成しているものの、自然災害の訓練については未実施である。今後はマニュアルに基づく勉強会を行うなど、自然災害に対する訓練実施につなげる取り組みに期待したい。また、入居者の情報について緊急持出一覧表のファイルを作成することが望まれる。	自然災害時の対応方法の周知・訓練を行い、避難先で利用者様の介助に係る情報を提供できる体制を築く。	既存の災害対応マニュアルを活用し、自然災害時の対応方法や避難場所の周知徹底を行う。また、避難先での協力者への利用者様の情報を提供できる一覧表を作成する。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。